

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮農業高校特別教室新築工事 孔番 No. №2 地盤高 m

調査場所 宇都宮市今泉町2021 (基準面)

地 形 摘要

調査期間 昭和53年12月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-3.50 m 調査担当者

標地下水位 高度(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料			標準貫入試験							
					色	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打 撃 回 数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
0				表 土	黒灰													
	0.80	0.80		ローム	茶褐色		関東ローム 有機物少量混 る。	2	1.1.2	1.15 1.45	4							
				鹿沼土	黄褐色			2	1/30	2.15 2.45	1							
	2.80	2.00		ローム	茶褐色		粘土ローム	3	1/30	3.15 3.45	1							
	3.50	0.70		砂 礫	茶 灰 色		礫φ20 ^m ~60 ^m 程度のもの主 体 所々φ100 ^m 200 ^m 内外の 玉石混る。 8.50 ^m 以下深透 水。	3	自沈	4.15 4.45	0							
	4.90	1.20		砂 礫	茶 灰 色			4	15.35	5.15 5.35	50 20							
				砂 礫	茶 灰 色			5	10.40	6.15 6.35	50 20							
				砂 礫	茶 灰 色			6	20.30	7.15 7.35	50 20							
				砂 礫	茶 灰 色			7	11.14.11	8.15 8.45	36							
				砂 礫	茶 灰 色			8	13.20.17	9.15 9.40	50 25							
	10.80	5.50		礫混り砂	茶 灰 色		小礫混る。	9	22.28	10.15 10.29	50 14							
	10.80	0.40		砂 礫	茶 灰 色			10	13.25.12	11.15 11.40	50 25							
				砂 礫	茶 灰 色			11	17.18.15	12.15 12.45	50							
				砂 礫	茶 灰 色			12	50/8反塔	13.15 13.23	50 8							
	15.60	4.60		砂 礫	茶 灰 色			13	14.12.14	14.15 14.45	40							
				岩 盤	暗灰		泥岩で軟岩 に属す。	14	14.36	15.15 15.35	50 20							
	16.35							15	16.34	16.15 16.35	50 20							

ボーリング柱状図

調査名 宇都宮農業高校管理特別教室新築工事 孔番 No. NU3 地盤高 _____ m

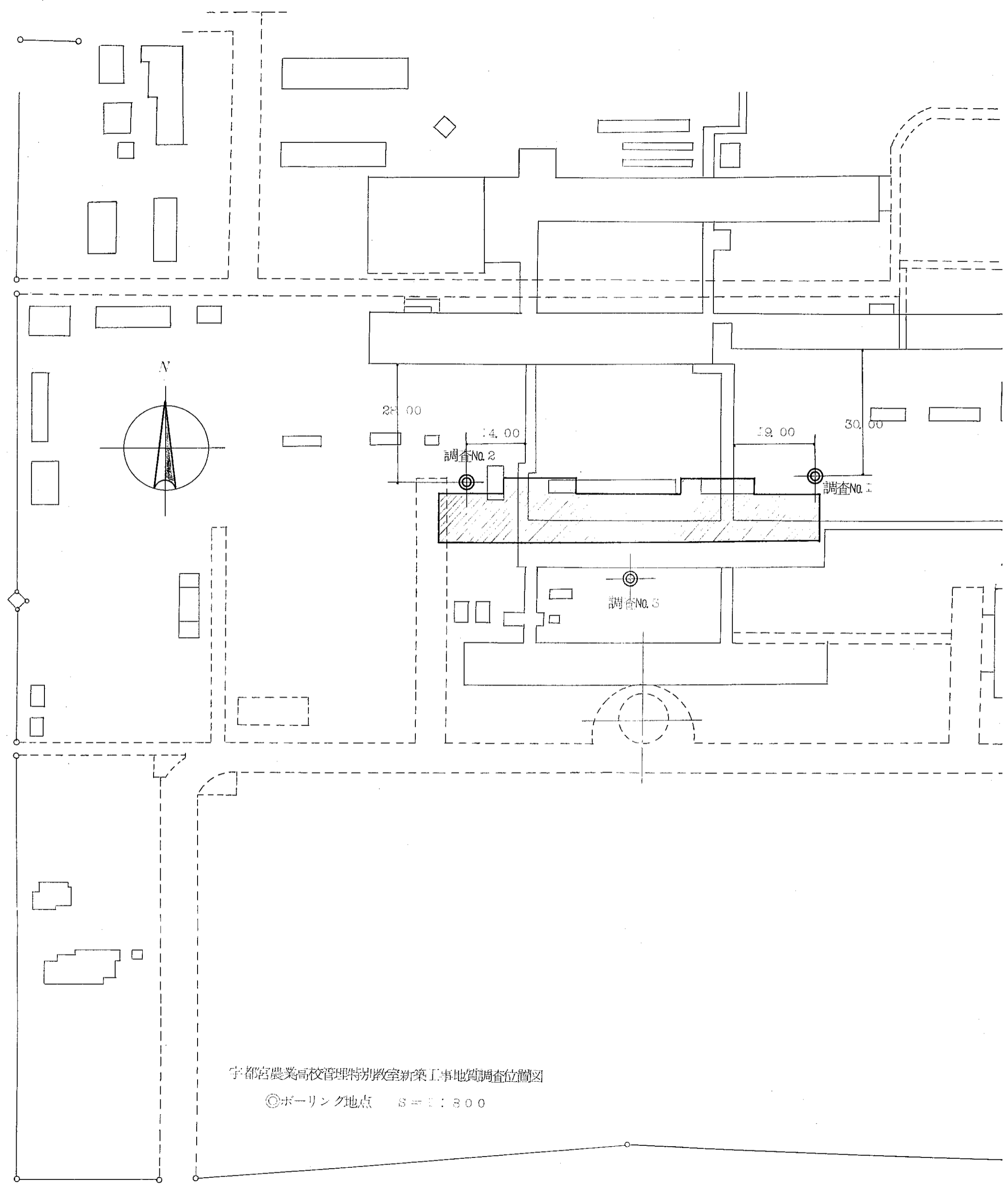
調査場所 宇都宮市今泉町2021 (基準面 _____)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和53年12月 日 ~ 月 日

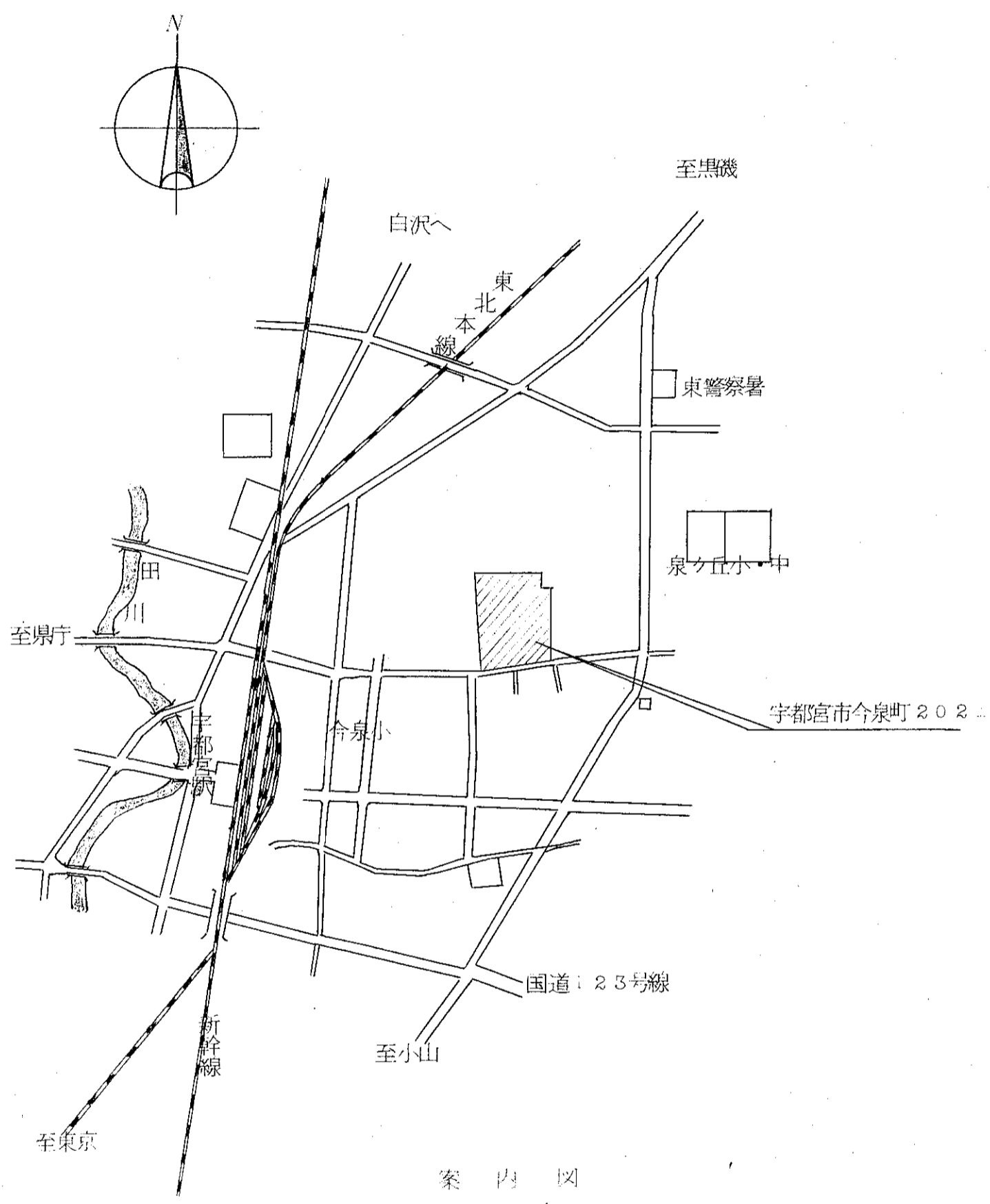
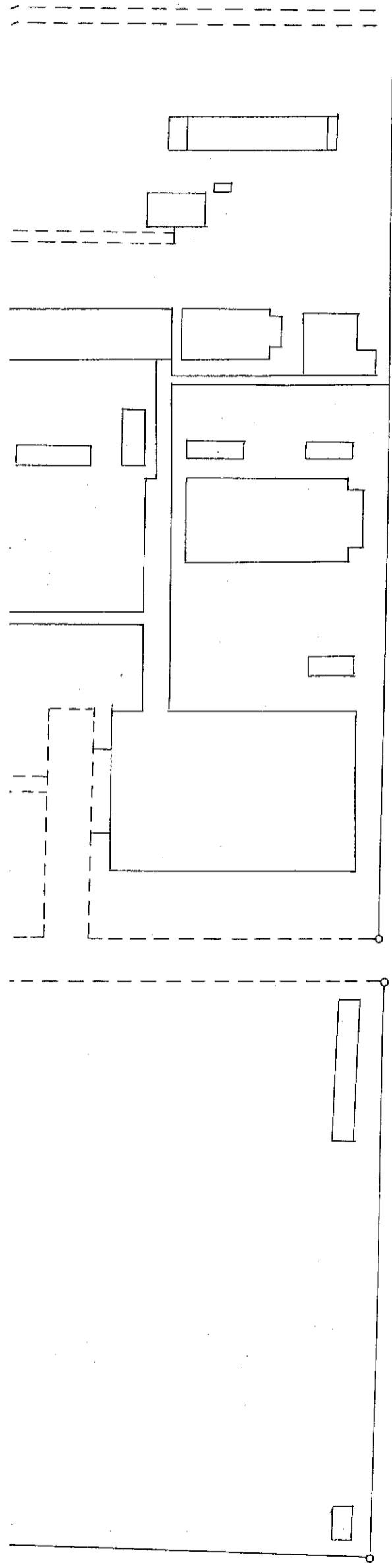
地下(孔内)水位 G L - 3.50 m 調査担当者 _____

標地下水位 高水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試験深度 (m)	標準貫入試験							
					色	相対密度		番号	記号		採取深度 (m)	打 撃 回 数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
	0.80	0.80		盛土	黒灰					1.15	2							
				ローム	茶褐色		下部砂質を呈す	3	1/20	1.45	2							
	2.00	1.60		鹿沼土	黄褐			1	1/1.2	2.15	4							
	3.40	1.00		ローム	茶褐		粘土ローム	2	1/40	3.15	1							
	3.90	0.50						3		3.55	40							
							所々礫φ100% ~150%内外の 玉石混る。 礫φ30~50% 程度のもので主 体。	3	6/12.25	4.15	43							
								4	23/27.8	5.15	50							
								4	18/22.3	6.15	50							
								5	5/5	7.15	50							
							8m附近より粘 土質を呈す。 礫φ20~50% 程度主体。 所々80%~100% 内外も混る。	5	17/18.4	8.15	50							
							8.70m附近と 13.70m附近 透水。	6	11/13.11	9.15	35							
								6	13/19.9	10.15	50							
								7	13/27.4	11.15	50							
								7	12/22.6	12.15	50							
								8	13/13.16	13.15	42							
							砂 礫	8		13.45								
								9	20/30	14.15	50							
								9		14.35	20							
								10	17/23.8	15.15	50							
								10		15.33	18							



宇都宮農業高校管理特別教室新築工事地質調査位置図

◎ボーリング地点 S=1:800



案内図